

人材養成に関する目的、教育研究上の目的

◆人材養成に関する目的

◇博士課程（前期課程）

1. 教育研究目的

神学研究科（前期課程）は、創立者新島襄が掲げた建学の精神である「国際主義」と「キリスト教主義」に基づき神学の教育研究を行い、「良心を手腕に運用する人物」の育成を目的としている。

本研究科は、2003年度から、従来のキリスト教研究にイスラーム研究とユダヤ教研究を加えることにより、研究教育の対象を中東生まれの3つの「一神教」に拡大した。これは、2001年の「9. 11」以降、一神教の理解なくして世界を適切に把握することが不可能であることが明らかとなったからである。日本において、そして世界においてもユニークな一神教の教育研究機関として、より一層広い視野に立ち、精深な学識を身につけたスペシャリスト及び研究者の育成を目指している。

2. 目指すべき人材(物)像

【神学】

神学研究科神学専攻博士課程（前期）は、人類が作り上げ蓄積してきた、生きるための知恵である宗教、とりわけキリスト教を批判的・学問的に分析することを通じて、幅の広い人間理解と深い知的洞察力を身に付け、諸問題を的確に把握して対応できる高度なスペシャリストおよび国際社会で活躍できる研究者の養成を目指している。具体的には「キリスト教のスペシャリスト」の養成を目的とし、修了後の進路として以下のものが挙げられる。

- (1) 牧師、キリスト教主義学校教員、社会事業家、研究者など、キリスト教関連の高度なスペシャリスト
- (2) 宗教に関する知識を持ったスペシャリストとして、一般企業で活躍が期待される職業人

【一神教研究】

神学研究科神学専攻博士課程（前期）は、人類が作り上げ蓄積してきた、生きるための知恵である宗教、とりわけキリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教を批判的・学問的に分析することを通じて、幅の広い人間理解と深い知的洞察力を身に付け、諸問題を的確に把握して対応できる高度なスペシャリストおよび国際社会で活躍できる研究者の養成を目指している。具体的には「文明の共存のためのスペシャリスト」の養成を目的とし、修了後の進路として以下のものが挙げられる。

- (1) 文明の共存のために、政府機関、国際機関、NGO、研究機関などで働く高度なスペシャリスト
- (2) 牧師、キリスト教主義学校教員、社会実業家、研究者など、キリスト教関連の高度なスペシャリスト
- (3) 宗教に関する知識を持ったスペシャリストとして、一般企業で活躍が期待される職業人

◆ディプロマ・ポリシー

【神学】

(知識・技能)

宗教、とりわけキリスト教とその世界に関し、人間・言語・歴史・文化・社会に対する学術的研究を行う技能を備え、専門的な知識を習得できる。

(思考力・判断力・表現力)

宗教、とりわけキリスト教とその世界に関する諸問題を積極的に発見し、その適正な解決方策を探求するために必要な専門的な知的洞察力や学問的方法論や語学力を運用できる。

(主体性・多様性・協働性)

宗教、とりわけキリスト教とその世界に関する課題を自ら設定し、専門的な知識と適切な研究方法をもって考察できるようになる。また、宗教の多様性を尊重し、他者との対話を通じて共存のための方策を探求できる。

【一神教研究】

(知識・技能)

宗教、とりわけキリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教とその世界に関し、人間・言語・歴史・文化・社会に対する学術的研究を行う技能を備え、専門的な知識を習得できる。

(思考力・判断力・表現力)

宗教、とりわけキリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教とその世界に関する諸問題を積極的に発見し、その解決方策を探求するために必要な専門的な知的洞察力や学問的方法論や語学力を運用できる。

(主体性・多様性・協働性)

宗教、とりわけキリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教とその世界に関する課題を自ら設定し、専門的な知識と適切な研究方法をもって考察できる。また、宗教の多様性を尊重し、他者との対話を通じて共存のための方策を探求できる。

◆カリキュラム・ポリシー

【神学】

宗教、とりわけキリスト教を批判的・学問的に分析することを通じて、幅の広い人間理解と深い知的洞察力を身に付け、諸問題を的確に把握して対応できる高度なスペシャリストおよび国際社会で活躍できる研究者を養成するため、聖書神学研究

コース科目、歴史神学研究コース科目、組織神学研究コース科目、実践神学研究コース科目、一神教学際研究コース科目によって構成されるカリキュラムを設置する。

聖書神学研究コース、歴史神学研究コース、組織神学研究コース、実践神学研究コースのいずれか1コースを専攻し、その科目からキリスト教とその世界に関する専門的な知識・技能とその運用能力および知的態度を16単位以上学び、かつ合計32単位以上を履修する。

上記を補完・強化するため、他コース科目、他研究科科目、本学高等研究教育院設置科目、他大学院科目を履修することができる。

宗教、とりわけキリスト教に関する専門的な知識・技能と適切な研究方法をもって自ら設定した課題を考察し、その研究結果を明瞭に伝達できるようになるため、主指導教員と2名の副指導教員の下、修士学位論文を作成する。

- 聖書神学研究コース科目では、キリスト教の正典である旧約聖書ならびに新約聖書のテキスト（原典）を現代聖書学の多様な方法論を用いて解釈し（思考力・判断力・表現力）、聖書の成立過程や現代に至るまでの影響史なども主体的に考察することにより（主体性・多様性・協働性）、聖書に関する専門的な知識・技能を習得する（知識・技能）。
- 歴史神学研究コース科目では、キリスト教の歴史的展開を社会・文化・政治・経済などとの関わりを考慮しつつ探究し（思考力・判断力・表現力）、特にアメリカ、イギリス、ドイツ、アジア、日本などの地域における宗教の実態や機能を解明することにより（主体性・多様性・協働性）、キリスト教史に関する専門的な知識・技能を習得する（知識・技能）。
- 組織神学研究コース科目では、キリスト教の思想や、現代社会における宗教や倫理に関連するテーマを研究し（思考力・判断力・表現力）、特に現代世界が直面している環境問題や生命倫理などの諸問題を主体的に考察することにより（主体性・多様性・協働性）、キリスト教思想に関する専門的な知識・技能を習得する（知識・技能）。
- 実践神学研究コース科目では、教会・礼拝・説教など、キリスト教信仰の具体的な形態や現象と、社会におけるキリスト教の働きを研究し（思考力・判断力・表現力）、特に人間が抱える生と死の問題などを理論的・実践的に考察することにより（主体性・多様性・協働性）、キリスト教の実践に関する専門的な知識・技能を習得する（知識・技能）。
- 一神教学際研究コース科目では、ユダヤ教、キリスト教、イスラームを総合的に研究し（思考力・判断力・表現力）、キリスト教神学はもちろんのこと、イスラーム神学やイスラーム法学というイスラームの根幹にあたる分野やこれらに関する思想・政治・社会・文化などを、またユダヤ教とユダヤ人に関する思想・文化・歴史などを幅広く探究することにより（主体性・多様性・協働性）、3つの一神教に関する専門的な知識・技能を習得する（知識・技能）。

【一神教研究】

宗教、とりわけキリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教を批判的・学問的に分析することを通じて、幅広い人間理解と深い知的洞察力を身に付け、諸問題を的確に把握して対応できる高度なスペシャリストおよび国際社会で活躍できる研究者を養成するため、一神教学際研究コース科目、聖書神学研究コース科目、歴史神学研究コース科目、組織神学研究コース科目、実践神学研究コース科目によって構成されるカリキュラムを設置する。

一神教学際研究コースを専攻し、その科目からキリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教とその世界に関する専門的な知識・技能とその運用能力および知的態度を16単位以上学び、かつ合計32単位以上を履修する。

上記を補完・強化するため、他コース科目、他研究科科目、本学高等研究教育院設置科目、他大学院科目を履修することができる。

宗教、とりわけキリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教に関する専門的な知識・技能と適切な研究方法をもって自ら設定した課題を考察し、その研究結果を明瞭に伝達できるようになるため、主指導教員と2名の副指導教員の下、修士学位論文を作成する。

- 一神教学際研究コース科目では、ユダヤ教、キリスト教、イスラームを総合的に研究し（思考力・判断力・表現力）、キリスト教神学はもちろんのこと、イスラーム神学やイスラーム法学というイスラームの根幹にあたる分野やこれらに関する思想・政治・社会・文化などを、またユダヤ教とユダヤ人に関する思想・文化・歴史などを幅広く探究することにより（主体性・多様性・協働性）、3つの一神教に関する専門的な知識・技能を習得する（知識・技能）。
- 聖書神学研究コース科目では、キリスト教の正典である旧約聖書ならびに新約聖書のテキスト（原典）を現代聖書学の多様な方法論を用いて解釈し（思考力・判断力・表現力）、聖書の成立過程や現代に至るまでの影響史なども主体的に考察することにより（主体性・多様性・協働性）、聖書に関する専門的な知識・技能を習得する（知識・技能）。
- 歴史神学研究コース科目では、キリスト教の歴史的展開を社会・文化・政治・経済などとの関わりを考慮しつつ探究し（思考力・判断力・表現力）、特にアメリカ、イギリス、ドイツ、アジア、日本などの地域における宗教の実態や機能を解明することにより（主体性・多様性・協働性）、キリスト教史に関する専門的な知識・技能を習得する（知識・技能）。
- 組織神学研究コース科目では、キリスト教の思想や、現代社会における宗教や倫理に関連するテーマを研究し（思考力・判断力・表現力）、特に現代世界が直面している環境問題や生命倫理などの諸問題を主体的に考察することにより（主体性・多様性・協働性）、キリスト教思想に関する専門的な知識・技能を習得する（知識・技能）。
- 実践神学研究コース科目では、教会・礼拝・説教など、キリスト教信仰の具体的な形態や現象と、社会におけるキリスト教の働きを研究し（思考力・判断力・表現力）、特に人間が抱える生と死の問題などを理論的・実践的に考察することにより（主体性・多様性・協働性）、キリスト教の実践に関する専門的な知識・技能を習得する（知識・技能）。

神学研究科

神学専攻2013年度以降生

登録コード		科目名 (主題)	単位	担当者	期間	週時間	聴講 区分	K- GURS	備考
科目	クラス								
【聖書神学研究コース科目】									
30113001		旧約聖書学概論1 (旧約聖書研究(1)-モーセ五書-)	2	越後屋 朗	春	2	可	★	
30113002		旧約聖書学概論2 (旧約聖書研究(2)-歴史書-)	2	越後屋 朗	秋	2	可	★	
		旧約聖書学概論3 (旧約聖書研究(3)-預言書-)		(本年度休講)					
		旧約聖書学概論4 (旧約聖書研究(4)-詩編、知恵文学など-)		(本年度休講)					
		新約聖書学概論1 (福音書(1))		(本年度休講)					
		新約聖書学概論2 (書簡(1))		(本年度休講)					
30113013		新約聖書学概論3 (福音書(2))	2	村山 盛葦	春	2	可	★	
30113014		新約聖書学概論4 (書簡(2))	2	村山 盛葦	秋	2	可	★	
30113021		聖書解釈学1 (聖書解釈(1))	2	石川 立	春	2	可	★	
30113022		聖書解釈学2 (聖書解釈(2))	2	石川 立	秋	2	可	★	
		ヘブライ語碑文(起源と発達)		(本年度休講)					2014年度以前生科目
30113051		旧約聖書原典演習1 (旧約聖書原典講読(1))	2	越後屋 朗	春	2	可	★	聖書ヘブライ語を修得していること。
30113052		旧約聖書原典演習2 (旧約聖書原典講読(2))	2	越後屋 朗	秋	2	可	★	聖書ヘブライ語を修得していること。
30113061		新約聖書原典演習1 (新約聖書の原典講読と 釈義(1))	2	石川 立	春	2	可	★	古典ギリシア語、あるいはコイネー・ギリシア語の文法を修得していること。
30113062		新約聖書原典演習2 (新約聖書の原典講読と 釈義(2))	2	石川 立	秋	2	可	★	古典ギリシア語、あるいはコイネー・ギリシア語の文法を修得していること。
30113071		聖書解釈学演習1 (聖書解釈の諸問題(1))	2	石川 立	春	2	否		聖書解釈学演習2を同時に登録することが望ましい。 聖書ヘブライ語と聖書ギリシア語を修得していることが望ましい。
30113072		聖書解釈学演習2 (聖書解釈の諸問題(2))	2	石川 立	秋	2	否		聖書解釈学演習1を同時に登録することが望ましい。 聖書ヘブライ語と聖書ギリシア語を修得していることが望ましい。
		聖書解釈学特殊演習1 (聖書解釈の方法(1))		(本年度休講)					
		聖書解釈学特殊演習2 (聖書解釈の方法(2))		(本年度休講)					
30113083		聖書解釈学特殊演習3 (聖書解釈の理論(1))	2	石川 立	春	2	可	★	
30113084		聖書解釈学特殊演習4 (聖書解釈の理論(2))	2	石川 立	秋	2	可	★	
30113085		福音書演習1 (共観福音書とヨハネ福音書(1))	2	村山 盛葦	春	2	可	★	コイネー・ギリシア語を修得していることが望ましい。 福音書演習2を同時に登録することが望ましい。
30113086		福音書演習2 (共観福音書とヨハネ福音書(2))	2	村山 盛葦	秋	2	可	★	コイネー・ギリシア語を修得していることが望ましい。 福音書演習1を同時に登録することが望ましい。
		ヨシュア記演習1 (ヨシュア記(1)-ヨシュア記と申命記学派-)		(本年度休講)					

*聴講区分欄は、他研究科生の登録可否を示すものです。

*K-GURS欄は、「京都・宗教系大学院連合単位互換履修生」に履修を認める科目(★を付与した科目)を示すものです。

登録コード	科目名 (主題)	単位	担当者	期間	週時間	聴講区分	K-GURS	備考
科目	クラス							
	ヨシュア記演習2 (ヨシュア記(2)-ヨシュア記の法思想-)		(本年度休講)					
30113093	サムエル記演習 (サムエル記-歴史かフィクションか-)	2	Ada COHEN	春	2	可	★	
30113094	イスラエル法演習 (イスラエル法と古代近東法)	2	Ada COHEN	秋	2	可	★	
	聖書神学特殊研究1		(本年度休講)					
	聖書神学特殊研究2		(本年度休講)					

【歴史神学研究コース科目】

30123101	キリスト教宣教の歴史1 (宣教の現場(1))	2	越川 弘英	春	2	否		
30123102	キリスト教宣教の歴史2 (宣教の現場(2))	2	越川 弘英	秋	2	否		
30123111	プロテスタント教派研究1 (ルター派、改革派、宗教改革急進派)	2	村上 みか	春	2	可	★	宗教改革研究1と同時履修が望ましい。
30123112	プロテスタント教派研究2 (イングランドにおける諸教派の形成)	2	村上 みか	秋	2	可	★	宗教改革研究2と同時履修が望ましい。
30123121	日本基督教団研究1(歴史) (日本基督教団の歴史)	2	村山 盛葦	春	2	可		教会またはキリスト教関係の学校・施設等への赴任希望者は、履修することが望ましい。
30123122	日本基督教団研究2(課題) (日本基督教団の課題)	2	村山 盛葦	秋	2	可		教会またはキリスト教関係の学校・施設等への赴任希望者は、履修することが望ましい。
30123131	宗教改革研究1 (ドイツの宗教改革-ルター-)	2	村上 みか	春	2	可	★	
30123132	宗教改革研究2 (スイスの宗教改革-ツヴィングリとカルヴァン-)	2	村上 みか	秋	2	可	★	
30123151	日本プロテスタント史演習1(論文指導) (第二次大戦前の日本キリスト教史)	2	吉田 亮	春	2	否		
30123152	日本プロテスタント史演習2(論文指導) (第二次大戦後の日本キリスト教史)	2	吉田 亮	秋	2	否		
30123161	近世キリスト教史演習1 (宗教改革と近世ヨーロッパのキリスト教(1))	2	村上 みか	春	2	否		宗教改革研究1と同時履修、もしくは履修済であることが望ましい。
30123162	近世キリスト教史演習2 (宗教改革と近世ヨーロッパのキリスト教(2))	2	村上 みか	秋	2	否		宗教改革研究2と同時履修、もしくは履修済であることが望ましい。
	歴史神学特殊研究1		(本年度休講)					
	歴史神学特殊研究2		(本年度休講)					

【組織神学研究コース科目】

	神学研究概論 (神学概論)		(本年度休講)					
30133211	教義学研究1 (教義学研究(1))	2	水谷 誠	春	2	可		
	教義学研究2 (教義学研究(2))		(本年度休講)					
30133221	近・現代神学史研究1 (近・現代神学史研究(1))	2	水谷 誠	秋	2	可		
	近・現代神学史研究2 (近・現代神学史研究(2))		(本年度休講)					
30133231	宗教哲学1 (宗教哲学研究(1))	2	三宅 威仁	春	2	可		
30133232	宗教哲学2 (宗教哲学研究(2))	2	三宅 威仁	秋	2	可		
	現代神学研究1 (現代神学の課題(1)-神学の言葉と認識-)		(本年度休講)					
	現代神学研究2 (現代神学の課題(2)-神と世界-)		(本年度休講)					
30133243	現代神学研究3 (現代神学の展開(1)-神学とコンテキスト-)	2	小原 克博	春	2	可	★	
	現代神学研究4		(本年度休講)					

* 聴講区分欄は、他研究科生の登録可否を示すものです。

* K-GURS欄は、「京都・宗教系大学院連合単位互換履修生」に履修を認める科目(★を付与した科目)を示すものです。

登録コード		科目名 (主題)	単位	担当者	期間	週時間	聴講 区分	K- GURS	備考
科目	クラス								
30133251		組織神学の諸問題演習1 (組織神学の諸問題(1))	2	水谷 誠	春	2	否		組織神学の諸問題演習2を履修済、または同時に登録することが望ましい。
30133252		組織神学の諸問題演習2 (組織神学の諸問題(2))	2	水谷 誠	秋	2	否		組織神学の諸問題演習1を履修済、または同時に登録することが望ましい。
30133261		組織神学文献講読演習1 (組織神学文献講読(1))	2	水谷 誠	春	隔週4	否		
30133262		組織神学文献講読演習2 (組織神学文献講読(2))	2	水谷 誠	秋	隔週4	否		
30133271		現代神学演習1 (現代神学の成果と展望(1))	2	小原 克博	春	2	否		
30133272		現代神学演習2 (現代神学の成果と展望(2))	2	小原 克博	秋	2	否		
30133281		古代中世神学原典演習1 (ラテン語文献講読(1))	2	石川 立	春	2	可	★	ラテン語の基礎文法を修得していること。
30133282		古代中世神学原典演習2 (ラテン語文献講読(2))	2	石川 立	秋	2	可	★	ラテン語の基礎文法を修得していること。
30133291		宗教哲学演習1 (宗教哲学の諸問題(1))	2	三宅 威仁	春	2	否		
30133292		宗教哲学演習2 (宗教哲学の諸問題(2))	2	三宅 威仁	秋	2	否		
		組織神学特殊研究1 (組織神学の課題(1)-宗教と苦難-)		(本年度休講)					
		組織神学特殊研究2		(本年度休講)					

【実践神学研究コース科目】

30143301		牧会学 (教師とは何か?-その神学と実践-)	2	越川 弘英	春	2	否		教会赴任希望者は、履修することが望ましい。 礼拝学を履修済であることが望ましい。 礼拝学1・2または実践神学19・20(学部科目)、 実践神学演習8・9(学部科目)を履修済であることが望ましい。
30143311		牧会カウンセリング1 (人間としての牧師)	2	関谷 直人	春	2	否		教会赴任希望者は、履修することが望ましい。
30143312		牧会カウンセリング2 (魂の援助者を目指して)	2	関谷 直人	秋	2	否		教会赴任希望者は、履修することが望ましい。
		礼拝学 (キリスト教の礼拝研究)		(本年度休講)					教会赴任希望者は、履修することが望ましい。 礼拝学1・2または実践神学19・20(学部科目) を履修済であることが望ましい。
30143351		臨床牧会訓練演習1 (臨床牧会訓練(1)-自己理解とロールプレイ-)	2	関谷 直人 三木 メイ	春	2	可		臨床牧会訓練演習2を同時に登録することが望ましい。
30143352		臨床牧会訓練演習2 (臨床牧会訓練(2))	2	関谷 直人 三木 メイ	秋	2	可		臨床牧会訓練演習1を履修済、または同時に登録すること。
		説教学演習1 (説教：理論と実践)		(本年度休講)					教会赴任希望者は、履修することが望ましい。
		説教学演習2 (説教：聖書解釈と言語)		(本年度休講)					教会赴任希望者は、履修することが望ましい。
30143371		宣教学演習 (宣教現場における実践・課題)	2	関谷 直人 菅根 信彦	秋	2	否		教会赴任希望者は履修することが望ましい。
		礼拝学演習 (キリスト教礼拝の課題と実践)		(本年度休講)					教会赴任希望者は、履修することが望ましい。 礼拝学1・2または実践神学19・20(学部科目) を履修済であることが望ましい。
30143373		牧会学演習 (現代における牧師の課題)	2	越川 弘英	秋	2	否		教会赴任希望者は、履修することが望ましい。 礼拝学を履修済であることが望ましい。 礼拝学1・2または実践神学19・20(学部科目)、 実践神学演習8・9(学部科目)を履修済であることが望ましい。
		インターンシッププログラム1 (神学生実習プログラム)		(本年度休講)					
30143382		インターンシッププログラム2 (夏期神学生実習プログラム)	2	関谷 直人	秋	2	否		
		東南アジアのキリスト教演習		(本年度休講)					

* 聴講区分欄は、他研究科生の登録可否を示すものです。

* K-GURS欄は、「京都・宗教系大学院連合単位互換履修生」に履修を認める科目(★を付与した科目)を示すものです。

登録コード		科目名 (主題)	単位	担当者	期間	週時間	聴講 区分	K- GURS	備考
科目	クラス								
30143391		実践神学の諸問題演習1 (現代における教会と教会者)	2	関谷 直人	春	2	否		教会赴任希望者は、履修することが望ましい。
30143392		実践神学の諸問題演習2 (現代における教会の理論と実践)	2	関谷 直人	秋	2	否		教会赴任希望者は、履修することが望ましい。
		実践神学特殊研究1		(本年度休講)					
		実践神学特殊研究2		(本年度休講)					

【一神教学際研究コース科目】

30153401		ユダヤ教聖書解釈の諸相1 (ユダヤ教聖書解釈の諸相(1))	2	勝又 悦子	春	2	可	★	
30153402		ユダヤ教聖書解釈の諸相2 (ユダヤ教聖書解釈の諸相(2))	2	勝又 悦子	秋	2	可	★	
30153411		ゲニザ文書研究1 (ゲニザ文書研究(1))	2	勝又 直也	春	2	可		
30153412		ゲニザ文書研究2 (ゲニザ文書研究(2))	2	勝又 直也	秋	2	可		
30153421		ユダヤ史の研究演習1 (ユダヤ教・ユダヤ人の歴史(1))	2	勝又 悦子	春	2	可	★	
30153422		ユダヤ史の研究演習2 (ユダヤ教・ユダヤ人の歴史(2))	2	勝又 悦子	秋	2	可	★	
30153451		現代ヘブライ語・ヘブライ文学読解演習1 (現代ヘブライ語・ヘブライ文学読解(1))	2	Ada COHEN	春	2	可		
30153452		現代ヘブライ語・ヘブライ文学読解演習2 (現代ヘブライ語・ヘブライ文学読解(2))	2	Ada COHEN	秋	2	可		
30153461		現代ヘブライ語演習1(上級) (現代ヘブライ語の世界とその文化(1))	2	Ada COHEN	春	2	可	★	現代ヘブライ語中級程度の知識を修得していることが望ましい。
30153462		現代ヘブライ語演習2(上級) (現代ヘブライ語の世界とその文化(2))	2	Ada COHEN	秋	2	可	★	現代ヘブライ語中級程度の知識を修得していることが望ましい。
30153471		20世紀におけるユダヤ文学の発展演習1 (20世紀におけるユダヤ文学の発展演習(1))	2	Doron COHEN	春	2	可	★	
30153472		20世紀におけるユダヤ文学の発展演習2 (20世紀におけるユダヤ文学の発展演習(2))	2	Doron COHEN	秋	2	可	★	
		イスラーム基礎法学1 (イスラーム基礎法学(1))		(本年度休講)					
		イスラーム基礎法学2 (イスラーム基礎法学(2))		(本年度休講)					
30153503		イスラーム基礎法学3 (イスラーム基礎法学(3))	2	四戸 潤弥	春	2	可	★	
30153504		イスラーム基礎法学4 (イスラーム基礎法学(4))	2	四戸 潤弥	秋	2	可	★	
30153511		クルアーン解釈1 (クルアーン解釈(1))	2	竹田 敏之	春	2	可		
30153512		クルアーン解釈2 (クルアーン解釈(2))	2	竹田 敏之	秋	2	可		
		ハディース解釈1 (ハディース解釈(1))		(本年度休講)					
		ハディース解釈2 (ハディース解釈(2))		(本年度休講)					
30153531		スーフィズムとイスラーム哲学1 (イスラームの信仰、スーフィズム、哲学(1))	2	仁子 寿晴	春	2	可	★	
30153532		スーフィズムとイスラーム哲学2 (イスラームの信仰、スーフィズム、哲学(2))	2	仁子 寿晴	秋	2	可	★	
		スーフィズムとイスラーム哲学3 (イスラームの信仰、スーフィズム、哲学(3))		(本年度休講)					
		スーフィズムとイスラーム哲学4 (イスラームの信仰、スーフィズム、哲学(4))		(本年度休講)					

*聴講区分欄は、他研究科生の登録可否を示すものです。

*K-GURS欄は、「京都・宗教系大学院連合単位互換履修生」に履修を認める科目(★を付与した科目)を示すものです。

登録コード		科目名 (主題)	単位	担当者	期間	週時間	聴講 区分	K- GURS	備考
科目	クラス								
		クルアーンと法1 (演習) (イスラーム原典講読(1))		(本年度休講)					
30153552		クルアーンと法2 (演習) (イスラーム原典講読(3))	2	四戸 潤弥	春	2	可	★	
		ハディースと法1 (演習) (イスラーム原典講読(2))		(本年度休講)					
30153562		ハディースと法2 (演習) (イスラーム原典講読(4))	2	四戸 潤弥	秋	2	可	★	
		クルアーン解釈演習1 (クルアーン解釈演習(1))		(本年度休講)					
		クルアーン解釈演習2 (クルアーン解釈演習(2))		(本年度休講)					
30153581		ハディース解釈演習1 (ハディース解釈演習(1))	2	竹田 敏之	春	2	可		
30153582		ハディース解釈演習2 (ハディース解釈演習(2))	2	竹田 敏之	秋	2	可		
		イランとイスラーム1 (イスラームの定着と展開)		(本年度休講)					
		イランとイスラーム2 (ペルシア文化圏のムスリム王朝とイスラーム文化の歴史)		(本年度休講)					
30153603		イランとイスラーム3 (イランにおけるシーア派思想の展開)	2	森山 央朗	春	2	可	★	
30153604		イランとイスラーム4 (イランにおけるシーア派ウラマーの知的実践)	2	森山 央朗	秋	2	可	★	
		イラン・イスラーム論演習1(論文指導) (ムスリムの社会と宗教(1))		(本年度休講)					
		イラン・イスラーム論演習2(論文指導) (ムスリムの社会と宗教(2))		(本年度休講)					
30153653		イラン・イスラーム論演習3(論文指導) (ムスリムの社会と宗教(3))	2	森山 央朗	春	2	可		
30153654		イラン・イスラーム論演習4(論文指導) (ムスリムの社会と宗教(4))	2	森山 央朗	秋	2	可		
30153701		グローバル社会研究1 (グローバル社会と多文化共生)	2	内藤 正典	春	2	否		
30153702		グローバル社会研究2 (グローバル社会と移民問題)	2	内藤 正典	秋	2	否		
		宗教研究1		(本年度休講)					
		宗教研究2		(本年度休講)					
30153721		国際関係 (外交政策論)	2	浅野 亮	春	2	否		
30153731		一神教学際研究 (グローバル社会における宗教と政治-共生のための道徳-)	2	小原 克博	秋	2	可		
30153751		一神教学際研究演習1 (一神教学際研究の方法(1))	2	小原 克博 四戸 潤弥 Ada COHEN	春	2	否		一神教学際研究コース生(前期課程学生)のみ履修可
30153752		一神教学際研究演習2 (一神教学際研究の方法(2))	2	小原 克博 四戸 潤弥 Ada COHEN	秋	2	否		一神教学際研究コース生(前期課程学生)のみ履修可
30153761		国際関係演習1 (国際安全保障論)	2	村田 晃嗣	秋	2	否		
30153762		国際関係演習2 (アメリカ)	2	村田 晃嗣	春	2	否		
30153798		一神教特殊研究1 (一神教研究の課題(1)-ユダヤ学-)	2	Ada COHEN Samuel VOLLENWEIDER	秋	集中	可	★	講義日程(予定)はシラバスを参照すること。
		一神教特殊研究2		(本年度休講)					

30101498	論文								
----------	----	--	--	--	--	--	--	--	--

*聴講区分欄は、他研究科生の登録可否を示すものです。
 *K-GURS欄は、「京都・宗教系大学院連合単位互換履修生」に履修を認める科目(★を付与した科目)を示すものです。

1. 修了要件

下記の要件をすべて充足する必要があります。

- (1)博士課程（前期課程）に2年以上在学すること。
- (2)以下に示す修了に必要な単位数を修得すること。

【2007年度以降生】

自己のコース科目から最低16単位を選択履修し、かつ合計32単位以上を履修すること。指導教員の承認が得られた場合は、他の研究科又は本学高等研究教育院設置の科目、他の大学院科目を履修することができる。その場合、あわせて8単位まで課程修了に必要な単位数に含めることができる。

- (3)修士学位論文を提出し、最終試験（修士修了総合試験）に合格すること。なお、特定の課題についての研究の成果をもって修士学位論文にかえることができる。
- (4)研究に必要な外国語に通じていること。

2. 履修方法

下記の他、登録の具体的な要領については、別冊『神学研究科登録要領』を参照してください。

- (1)同志社大学では、すべての学部・大学院で「 Semester制」を実施しています。ただし、科目の登録については秋学期に履修する科目も春学期の登録期間に登録してください。なお、春学期に登録した秋学期科目は秋学期前に登録を変更することが可能です。
- (2)日本基督教団補教師検定試験を受験しようと考えている場合、履修科目の選択はたいへん重要です。補教師をめざす方を対象とした説明会を入学式翌日（予定）に開催しますので、説明会に必ず出席した上で履修計画を立ててください。受験を予定している2019年度以前生も出席してください。
- (3)修了する予定の年度に「論文」を登録してください。なお、特定の課題についての研究の成果をもって修士論文にかえる場合も「論文」を登録してください。
修了見込となる登録ができていない場合は論文の登録はできません。
- (4)特定の課題についての研究の成果をもって修士論文にかえることを希望する場合は、指導教員、大学院教務主任に相談してください。
- (5)原則として、主指導教員の演習科目を2年にわたって履修し、修士論文作成に必要な指導を受けてください。その他の演習科目も、主指導教員が研究上必要と認めるときは、2度まで履修することができます。講義科目は1度しか履修が認められません。同一科目を2度履修した場合には2度とも修了単位数に算入されますが、宗教科免許取得の単位としては1度しか算入されません。
- (6)神学研究科在学中に他大学大学院で修得した大学院科目の単位を、8単位を超えない範囲で課程修了の所定単位として認定する場合があります。
- (7)協定に基づき、関西学院大学、関西大学、立命館大学の各大学院科目を履修することができます。修得した単位は課程修了の所定単位として認定する場合があります。履修を希望する場合は所定の出願手続が必要です。手続については『神学研究科登録要領』を参照してください。
- (8)協定に基づき、「京都・宗教系大学院連合」に参加する各大学が指定する大学院科目（種智院大学は学部科目）を履修することができます。修得した大学院科目の単位は課程修了の所定単位として認定する場合があります。履修を希望する場合は所定の出願手続が必要です。
- (9)神学研究科入学前に修得した大学院科目の単位（科目等履修生として修得した単位を含む）を、10単位を超えない範囲で課程修了の所定単位として認定する場合があります。希望者は入学後直ちに神学部・神学研究科事務室まで申し出てください。

3. 修士論文作成について

- (1)入学式後の「修士論文および特定課題の研究成果についての説明会」に必ず出席してください。指導教員決定後は指導教員の指導を受けてください。なお、指導教員決定方法については説明会にて案内します。
- (2)論文の提出期限、様式等は別途配布の『神学研究科博士課程（前期課程）「論文」提出要領』を参照してください。
- (3)「修士論文および特定課題の研究」の審査基準については以下のとおりです。
 - 1) 問題意識が明確で、学術的意義のある研究テーマを設定していること。
 - 2) 関連する主要な先行研究を理解していること。
 - 3) 研究テーマに最適な方法論を採用していること。
 - 4) 論理的一貫性のある論述を展開し、確固とした論拠に基づいて妥当な結論を導き出していること。

- 5) 結論が当該研究領域の学問的進展に寄与するものであること。
- 6) 倫理的・形式的要件を満たしていること。

4. 学会発表に対する交通費等の補助

- (1) 神学研究科に在籍する者が学会で発表する場合、往復の交通費および宿泊費を補助します。ただし、指導教員がその「学会発表」を指導上必要と認めた場合に限り、また、休学中の者は対象となりません。
- (2) 補助申請を希望する者は、神学部研究室事務室（神学館2階）に申し出てください。必要なデータをお渡しします。
- (3) 「出張稟議書・支出伝票（旅費）」、「学会での発表を証明する書類」および「研究出張申請書」を開催日の2週間前までに指導教員へ提出してください（指導教員より神学部研究室事務室へ提出されます）。
- (4) 申請内容によっては補助が認められない場合があります。
- (5) 補助申請は年度内に国内2件、海外1件の計3件までを上限とします。
- (6) 国内で開催される学会で発表する場合の補助は、2件分の交通費と宿泊費をあわせて70,000円を上限とします。
- (7) 海外で開催される学会で発表する場合の補助は、交通費と宿泊費をあわせて70,000円を上限とします。
- (8) 交通費は鉄道運賃、船舶運賃、航空運賃、その他の運賃とし、算出基準は同志社大学旅費交通費取扱要領を準用します。
ただし、主催者等から交通費が支給される場合や他の予算から交通費が支給される場合は支給しません。
- (9) 宿泊費は学会開催地が遠方のため発表日前日の出発が必要な場合や、発表当日に帰着が不可能な場合に限り、1件につき1泊13,000円を上限とし補助します。なお、学会開催地が遠方のため発表日前日の出発が必要、且つ発表当日に帰着が不可能な場合に限り2泊分を限度として補助します。学会発表前後の学会に参加してもその分の宿泊費は支給しません。
また、主催者等から宿泊費が支給される場合や他の予算から宿泊費が支給される場合も支給しません。
- (10) 学会発表終了後、2週間以内に指導教員の承認印をもらったうえで「研究出張報告書」を神学部研究室事務室（神学館2階）へ提出してください。

5. 「京都・宗教系大学院連合」の教育（単位互換）および研究に関する協定書

2006年2月28日

「京都・宗教系大学院連合」はその設立の趣旨に基づき、2005年7月31日に設立された。「京都・宗教系大学院連合」に加盟する大学院は、各大学院の規則に定めるところにより、学生が相互に他大学院の授業科目を履修し、単位を修得することを認めるにあたり、また、研究上の相互協力を促進するために、次の事項について合意に達したので、ここに協定書を取り交わす。

(受け入れ)

第1条 「京都・宗教系大学院連合」に加盟する大学院に在学する学生が、他の大学院が指定する授業科目の履修および単位の修得を希望するときは、科目を開設する大学院の学長は当該学生を受け入れることができる。

(単位互換履修生)

第2条 各大学院は、前条により受け入れた学生を「京都・宗教系大学院連合単位互換履修生」（以下、「単位互換履修生」という）として取り扱う。

(履修期間)

第3条 単位互換履修生の履修期間は、受け入れ大学院が決定する。

(授業科目の範囲および単位数)

第4条 履修できる授業科目の範囲および修得できる単位数は、受け入れ大学院が決定する。

(学生数)

第5条 各授業科目に受け入れる学生数は、受け入れ大学院が決定する。

(受け入れ手続き)

第6条 単位互換履修生の受け入れ手続きは、受け入れ大学院が決定する。

(成績通知等)

第7条 単位互換履修生の履修方法、成績通知等については、受け入れ大学院に在学する学生の場合と同様とする。

(授業料等)

第8条 単位互換履修生の選考料および授業料等については相互に徴収しない。

(研究上の相互協力)

第9条 各大学院等において、学術情報の交換、国内外の研究者との人的交流、共同の講演会・研究会の開催等により、研究上の相互協力を促進する。その内容および方法については、別に定める。

附則 この協定は、2006年2月28日から施行する。

6. 神学部研究室図書利用規程

2019年2月15日 改正

【一般規程】

1. 神学部研究室所蔵資料(以下、本研究室所蔵資料)は、原則として神学部・神学研究科専任教員および学生の、研究・学問の必要に応じて利用されるものである。
2. 前項に支障を生じない範囲において、部外者の利用にも便宜をはかる。
3. 本研究室所蔵資料は、多くの教員および学生が共用するものであるため、利用規程を遵守し、他の利用者の研究・学問の妨げとならないように留意すること。
4. 規程に反するときは貸出停止の処置をとることがある。
5. 貸出と返却はかならず本人が行うこと。
6. 紛失や延滞の責任は借用した者が負うことになる。又貸しは絶対に行わないこと。
7. 資料を紛失した場合は、同一資料または時価により弁償しなければならない。
8. 図書室での談話・飲食を禁じる。
9. 開館時間：平日9時から11時半、12時半から17時。

【細則】

I. 神学部・神学研究科生の利用

1. DOORS (同志社大学学術情報検索システム) で貸出を希望する図書を検索し、所定用紙に必要事項を記入の上、学生証を添えて窓口で手続きすること。なお下記の資料については貸出できないため、図書室内で利用すること。
※リザーブ図書 (神学部設置科目担当教員の指定により、一定期間貸出を保留し、受講学生のサイド・リーディングの便宜をはかる図書)・参考図書・逐次刊行物(雑誌、新聞、学術誌)・マイクロ資料・視聴覚資料・貴重書・禁帯出図書
2. 前項にかかわらず、リザーブ図書は、平日15時から翌朝10時45分まで、金曜日は15時から翌週月曜日午前10時45分までに限り、館外貸出を認める。貸出を希望する図書に学生証を添えて、窓口で手続きすること。
3. 神学研究科生は、書庫に入って資料探索することができる。窓口で入庫許可書を提示の上、入庫名簿に必要事項を記載し入庫すること。貸出を希望する場合には、貸出を希望する図書に学生証を添えて、窓口で手続きすること。なお、神学研究科生以外でも、特にその必要が認められた場合には、入庫を許可することがある。
4. 貸出冊数と期間：

学部生	5冊	14日
研究科生	20冊	28日

II. 部外者の利用

部外者は、本学部関係者の研究・学問に差支えない限り、下記の規程にそって本研究室所蔵資料を利用することができる。

1. 他研究科生、他学部生：窓口で学生証を提示すること。
館内利用：DOORS (同志社大学学術情報検索システム) で貸出を希望する図書を検索し、所定用紙に必要事項を記入の上、学生証を添えて窓口で手続きすること。図書室内で閲覧すること。
館外貸出：所定用紙に必要事項を記入の上、学生証を添えて窓口で手続きすること。
研究科生 10冊28日 学部生 5冊14日
2. 同志社女子大生：窓口で図書利用カードを提示すること。
館内利用：DOORS (同志社大学学術情報検索システム) で貸出を希望する図書を検索し、所定用紙に必要事項を記入の上、図書利用カードを添えて窓口で手続きすること。図書室内で閲覧すること。

- 館外貸出：所定用紙に必要事項を記入の上、図書利用カードを添えて窓口で手続きすること。
5冊14日。
3. 京都・宗教系大学院連合単位互換履修生：窓口で学生証を提示すること。
大学コンソーシアム京都単位互換履修生：窓口で単位互換履修生証を提示すること。
館内利用：DOORS（同志社大学学術情報検索システム）で貸出を希望する図書を検索し、所定用紙に必要事項を記入の上、学生証または単位互換履修生証を添えて窓口で手続きすること。図書室内で閲覧すること。
館外貸出：神学部設置科目を登録履修中の学生は貸出することができる。所定用紙に必要事項を記入の上、学生証または単位互換履修生証を添えて窓口で手続きすること。5冊14日。
4. 他学部専任教員、専任職員：窓口で社員証を提示すること。
館内利用：DOORS（同志社大学学術情報検索システム）で貸出を希望する図書を検索し、所定用紙に必要事項を記入の上、社員証を添えて窓口で手続きすること。図書室内で閲覧すること。
館外貸出：所定用紙に必要事項を記入の上、社員証を添えて窓口で手続きすること。
教員 50冊28日 職員 10冊28日
5. 法人内諸学校教職員、京都・宗教系大学院連合加盟大学院(大学)所属教員：窓口で身分証を提示すること。
館内利用：DOORS（同志社大学学術情報検索システム）で貸出を希望する図書を検索し、所定用紙に必要事項を記入の上、身分証を添えて窓口で手続きすること。図書室内で閲覧すること。
館外貸出：所定用紙に必要事項を記入の上、身分証を添えて窓口で手続きすること。
諸学校教職員 5冊14日。
京都・宗教系大学院連合加盟大学院（大学）所属教員 10冊28日。
6. 同志社大学図書利用カード発行者：窓口で図書利用カードを提示すること。
館内利用：DOORS（同志社大学学術情報検索システム）で貸出を希望する図書を検索し、所定用紙に必要事項を記入の上、図書利用カードを添えて窓口で手続きすること。図書室内で閲覧すること。
館外貸出：所定用紙に必要事項を記入の上、図書利用カードを添えて窓口で手続きすること。
5冊14日。
7. その他学外者
下記の手続にしたがって図書室内で閲覧利用することができる。原則として貸出は行わない。
1) 私立大学図書館協会、国立大学図書館協議会、および公立大学協会図書館協議会加盟校教職員及び学生図書館を通じて事前に問い合わせし、当該図書館長の紹介状を窓口を持参すること。
2) 近隣諸教会の教職者、他大学の教職員等で長期間、神学部図書室の利用を希望される方申請により「特別閲覧許可証」を発行する。別記、「特別閲覧細則」参照。

附則

この規定は、2019年4月1日から施行する。